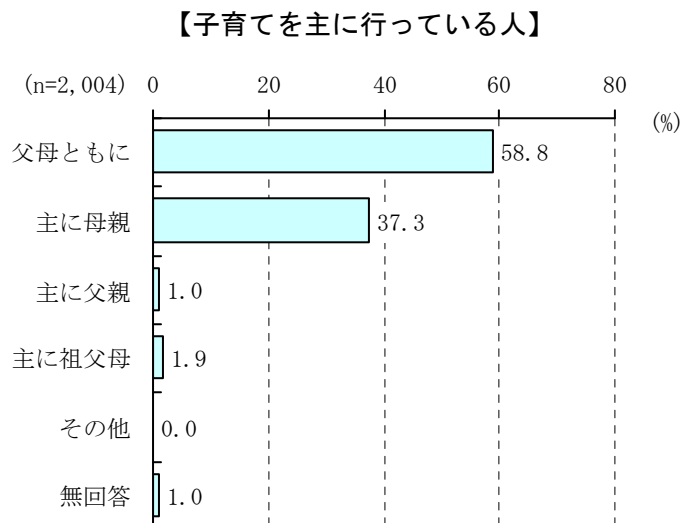


## 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子育てを主に行っている人

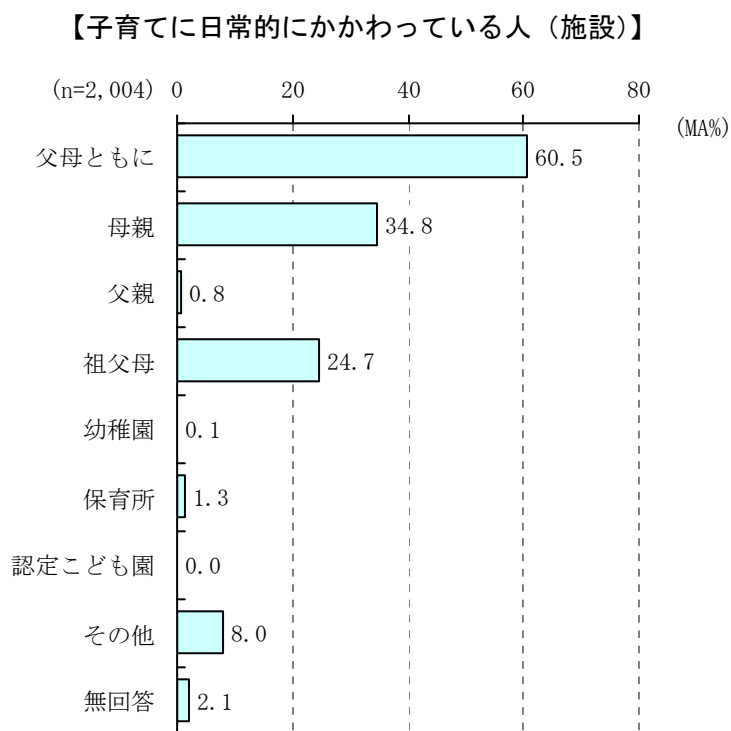
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。  
お子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つだけ】



子育てを主に行っている人を見ると、「父母ともに」が 58.8%で最も高く、次いで「主に母親」(37.3%)の順となっている。

(2) 子育てに日常的にかかわっている人（施設）

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。【〇はあてはまるものすべて】



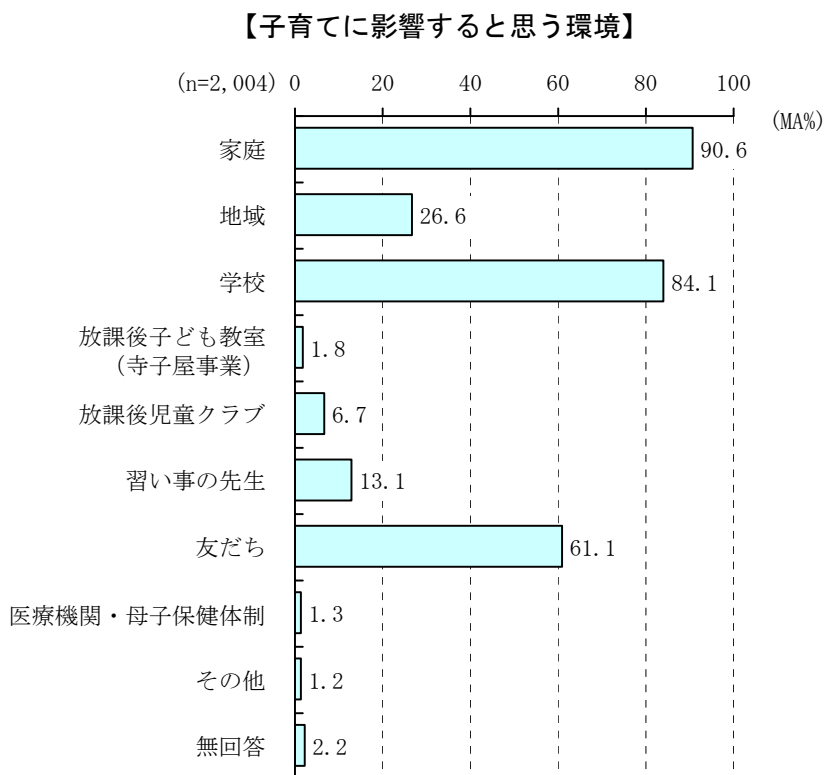
子育てに日常的にかかわっている人（施設）をみると、「父母ともに」が 60.5%で最も高く、次いで「母親」（34.8%）、「祖父母」（24.7%）の順となっている。

順位	問7 その他内容	件数
1	小学校、小学校の先生	127
2	学童保育（アフタースクール）	20
3	おじ・おば	11
4	兄弟・姉妹	5
5	小学校の先生	3
-	その他	5

Ⅲ 調査結果・小学生児童

(3) 子育てに影響すると思う環境

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。【〇はあてはまるものすべて】



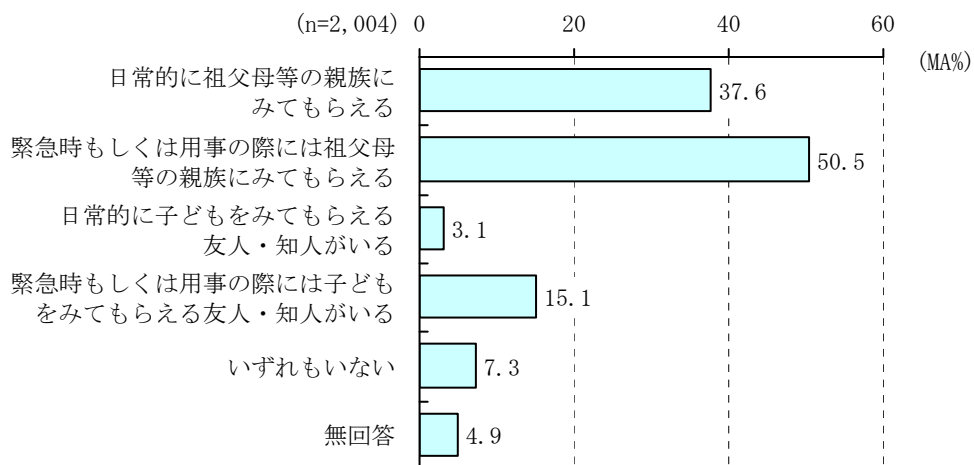
子育てに影響すると思う環境をみると、「家庭」が90.6%で最も高く、次いで「学校」(84.1%)、「友だち」(61.1%)、「地域」(26.6%)の順となっている。

順位	問8 その他内容	件数
1	スポーツ少年団	11
2	習いごと	2
3	障害者支援施設	2
3	きょうだい	2
-	その他	9

(4) 子どもを預かってもらえる親族、友人・知人の有無

問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。  
【〇はあてはまるものすべて】

【子どもを預かってもらえる親族、友人・知人の有無】



子どもを預かってもらえる親族、友人・知人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50.5%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(37.6%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(15.1%)の順となっている。

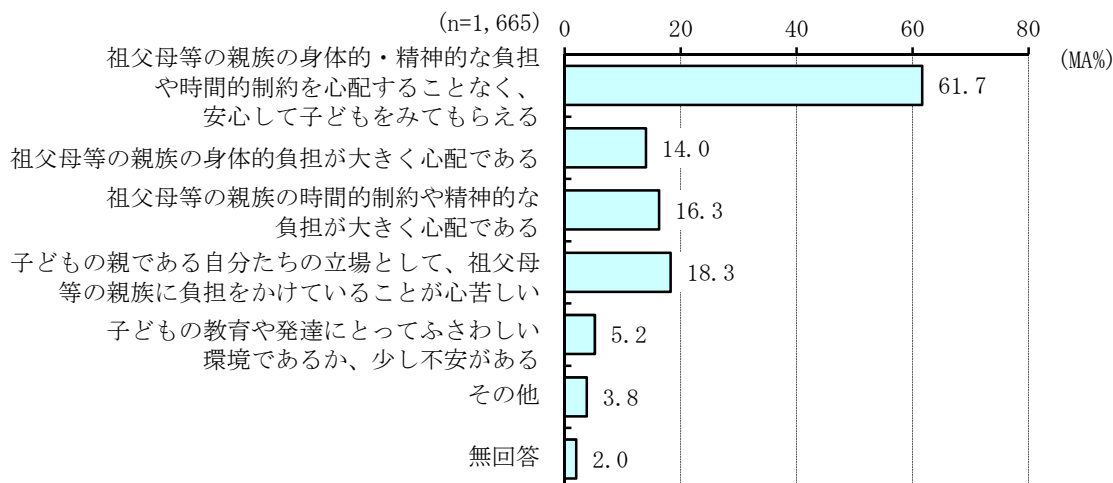
一方、日常・緊急時に子どもを預かってもらえる親族、友人・知人が「いずれもない」と回答した割合は7.3%となっている。

(5) 親族への預けやすさ

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
【○はあてはまるものすべて】

【親族への預けやすさ】

※日常的、緊急的に子どもを親族にみてもらえる人



親族への預けやすさをみると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が61.7%で最も高く、次いで「子どもの親である自分たちの立場として、祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい」(18.3%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(16.3%)、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(14.0%)の順となっている。

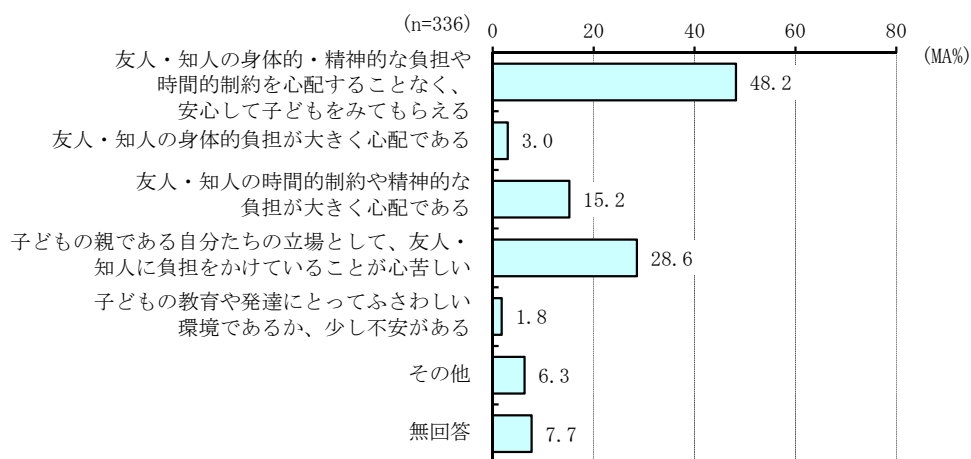
順位	問9-1 その他内容	件数
1	祖父母宅が遠距離なため、頼みにくい	8
1	祖父母が仕事をしているため、見てもらえないことがある	8
3	祖父母等の身体的・精神的に心配な面もあるが、安心して子どもを預けられている	7
4	みてもらったことがないので分からない	4
4	見てもらえるが、協力的でない	4
6	多少、気をつかうことがある	3
7	緊急時以外は頼みにくい	2
7	祖父母に余裕があるときだけ見てもらえる	2
7	多少は負担があると思う	2
7	親が家にいないため、見てもらわざるを得ない	2
7	高齢であることを考えると今後が心配	2
7	緊急時のみ預けるようにしている	2
7	親族の都合、体調や負担を考えて預けている	2
-	その他	12

(6) 友人・知人への預けやすさ

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
【〇はあてはまるものすべて】

【友人・知人への預けやすさ】

※日常的、緊急的に子どもを友人・知人にみてもらえる人



友人・知人への預けやすさをみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が48.2%で最も高く、次いで「子どもの親である自分たちの立場として、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」(28.6%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(15.2%)の順となっている。

順位	問9-2 その他内容	件数
1	見てもらったことはないが、頼めばみてもらえる	7
2	気を使う	4
3	負担は気になるが、安心して預けられる	2
3	お互い助け合って、協力している	2
-	その他	5

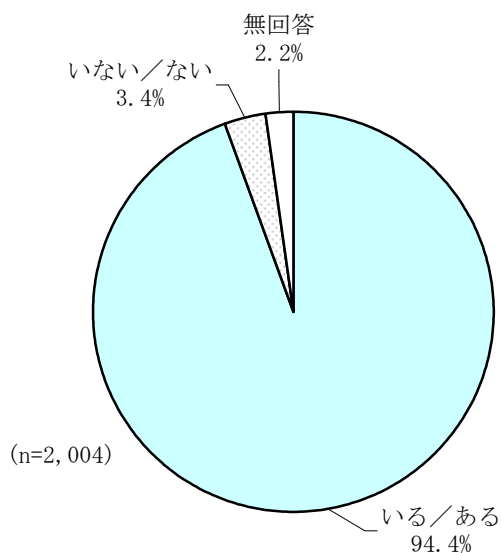
### Ⅲ 調査結果・小学生児童

#### (7) 子育てに関する相談先の有無、相談先

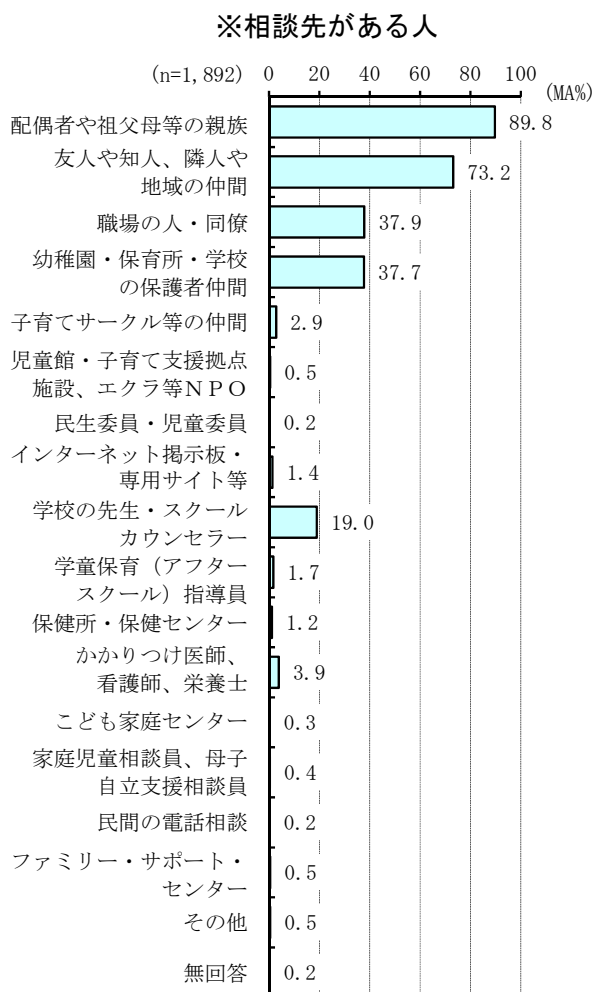
問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【〇は1つだけ】

問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。【〇はあてはまるものすべて】

【子育てに関する相談先の有無】



【子育てに関する相談先】



子育てに関する相談先の有無をみると、「いる/ある」が94.4%と大半を占めており、「いない/ない」は3.4%となっている。

子育てに関する相談先が「いる/ある」と回答した人の相談先は、「配偶者や祖父母等の親族」が89.8%で最も高く、次いで「友人や知人、隣人や地域の仲間」（73.2%）の順となっている。

順位	問10-1 その他内容	件数
1	療育センター・発達診療センター等	6
2	子どもの習いごとの保護者仲間	2
3	スポーツチームのコーチ	1
3	発達障がい詳しい恩師の先生	1

(8) 子育てをするうえで周囲に求める支援

問 1 1 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

【子育てをするうえで周囲に求める支援（自由記述）】

順位	意見	件数
1	子どもの預かり支援の充実（緊急時や高学年を預けられるところ）	53
2	地域での交流、見守り体制の充実（声かけ、パトロールの強化など）	42
3	相談支援の充実（専門家による相談、気軽に相談できる場所など）	30
4	病児保育支援の充実（病児保育施設の設立など）	26
4	アフタースクールの拡充について（利用学年の引き上げ、時間の延長など）	26
6	小学校について（学習指導の充実、学校での様子を連絡など）	14
7	経済的支援の充実（金銭的なサポート、教育費の助成など）	13
8	遊び場の提供や行事等の充実（のびのび遊べる公園や広場など）	12
9	ファミリーサポートの充実（利用料金の改善、サービス内容の充実）	10
10	アフタースクール・寺子屋について（子どもが行ける場所に作ってほしいなど）	8
10	現状に満足、困っていない	8
12	相談窓口の充実（休日・夜間の対応、フリーダイヤルの導入など）	7
12	母親の精神的サポート（子育てのストレスを解消できる場所など）	7
12	親同士の交流（子育ての情報交換、友だちを増やせる場所など）	7
12	コミュニティーセンターの充実（スポーツや習いごと教室の充実など）	7
12	長期休み中のアフタースクールの拡充（長期休み中のみの利用など）	7
17	放課後、長期休みの学校の解放の充実（学校の運動場、図書館の開放）	6
18	障がい児・発達障がい児への支援（専門的な人材、スクールの増加など）	5
19	情報提供の充実（利用可能なサービスの案内、相談の案内など）	3
19	公的機関での託児（病院・市役所・学校内での一時預かりなど）	3
19	病児保育への理解（子どもが病気で休みのしやすい環境づくりなど）	3
19	子育てサークルやイベントについて（気軽に立ち寄れる場所、サークルなど）	3
23	医療体制について（小児夜間救急の充実、発達外来受付の改善など）	2
23	行政へ望む支援（子どもの人口が増える街づくり、子育て支援のPRなど）	2
23	放課後クラブ活動の充実（低学年からのクラブ活動の開始など）	2
23	幼稚園・保育園について（幼稚園の定員の改善、保育内容の充実など）	2
23	交通機関・道路整備について（通学路の歩道の改善、らんらんバスの改善など）	2
-	その他	28